

2013年 5月 9日

各 位

株式会社 **キッツ** **メタルワークス**

代表取締役社長 小林吉正

長野県茅野市宮川小早川 7377 番地

高いリサイクル性を有する鉛フリー黄銅合金発売のお知らせ

キッツグループの株式会社キッツメタルワークスは、このたび、株式会社キッツと共同で、高いリサイクル性と良好な切削性を有する耐食用鉛フリー黄銅棒“XAメタル（鍛造用）”と“XCメタル（切削用）”並びに一般用鉛フリー黄銅棒“XEメタル”を開発し、下記のとおり発売することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1.経緯

昨今、国内外の環境規制により銅合金中に含まれる鉛やカドミウムなどに対する規制が強化されています。例えば、米国においては米国安全飲料水法(SDWA)の改正により2014年1月から水道用の配管部材には鉛を含まない銅合金の使用が義務付けられます。また、欧州連合(EU)ではRoHSやELVに代表される環境規制において、既にカドミウム等が厳しく規制されています。今後は、定期的な規制見直しにより、現在、規制適用除外となっている鉛を含む銅合金が更なる規制の対象となることが考えられます。

世界の黄銅棒業界ではこれらの規制に対応する商品として、①Bi(ビスマス)系、②Si(シリコン)系、③これらの添加元素を全く含まないものという、3種の黄銅棒が提案され供給されています。

しかしながら、切削性を確保するためにBiやSiが添加されている①Bi系や②Si系の黄銅棒は、従来の鉛入り黄銅棒スクラップとの分別が大きな課題となっています。

一方、この問題を解決するために③添加元素を含まない黄銅棒も提案されていますが、耐脱亜鉛腐食性、耐応力腐食割れ性、耐エロージョン・コロージョン性等の耐食性を有しないため、水回りで使用される商品への適用が困難な状況です。

そこで当社では、リサイクル性を阻害する元素を含まない耐食用鉛フリー黄銅棒“XA、XCメタル”と耐食性のない一般用鉛フリー黄銅棒“XEメタル”を開発しました。これらは、従来の鉛入り黄銅棒スクラップとの分別が不要であり、高いリサイクル性を実現した黄銅材料です。

当社は、“XA、XCメタル”を、現在世界で主流になりつつあるBi、Siなどの添加元素を含有しない合金系の最上位スペックとして、また“XEメタル”を一般用のスタンダードスペ

ックと位置付け、日本国内はもとより世界の鉛フリー銅合金市場へ供給してまいります。

2.特徴

- 1) 耐食用鉛フリー黄銅棒“XA、XCメタル”と一般用鉛フリー黄銅棒“XEメタル”は、ビスマスフリー、シリコンフリーのため、従来の鉛入り黄銅棒スクラップとの分別が不要であり、高いリサイクル性を実現しました。
- 2) 耐食用鉛フリー黄銅棒“XA、XCメタル”は、世界で初めて、水回り商品に必要とされる耐食性（耐脱亜鉛腐食性、耐応力腐食割れ性、耐エロージョン・コロージョン性）を確保することに成功した材料で、特許出願済みです。株式会社キッツでは、この素材を使用したバルブの商品化を進めています。
- 3) 一般用鉛フリー黄銅棒“XEメタル”はEN規格におけるCW510Lの規格成分範囲内の合金であり、当社の独自技術によって、切削性、熱間加工性等を最適化した黄銅材料です。

3.受注開始時期

2013年9月より

4.生産・販売目標

2015年度 月産 500トン

2015年度 売上高 3.5億円

以 上

■この件に関する問い合わせ先
株式会社キッツメタルワークス
電話 0266-79-3030
経営企画部 阿部